

門型標識個別施設計画

令和5年2月

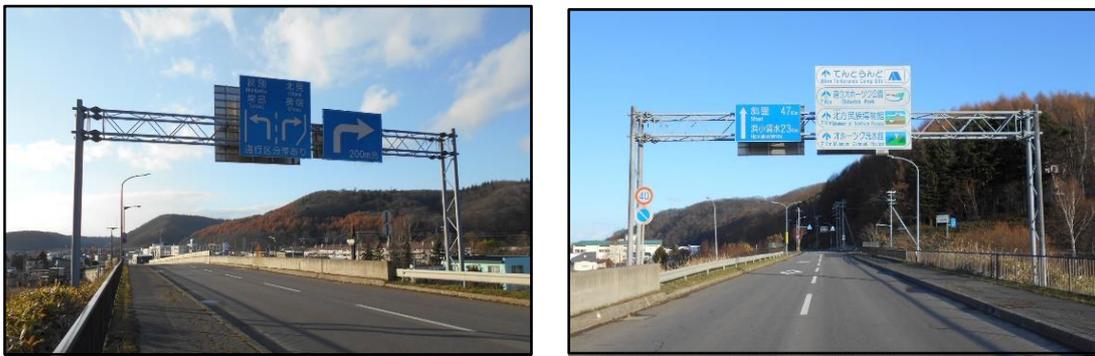
網走市

門型標識個別施設計画

1. 道路標識（門型式）の現状と課題

網走市が管理する供用中の門型標識は平成4年度施工「山下通線（市道番号117）」に設置されている1箇所であり、建設後の経過年数は28年となっている。建設後50年を超えるまでには、22年間となるが支柱基礎部のベースプレートやアンカーボルトに腐食などが確認されている。

写真-1 施工事例写真



門型標識

門型支柱（オーバーヘッド式）を有する大型の道路標識及び、道路情報提供装置（収集装置含む）をいう。

2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

今後、道路構造物が急速に老朽化していくことを踏まえ、道路管理者の責任による点検、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを確立するために具体的な点検頻度や方法等が法令で定められ、また、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」（平成26年4月）より、メンテナンスサイクルを持続的に回すよう取り組むべきと提言された。

これらを踏まえて、今後さらに老朽化する道路構造物の増加が見込まれていることから、下記の定期点検要領等に基づき、5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施し、健全性の判定を4段階で区分して構造物の状態を把握していく。

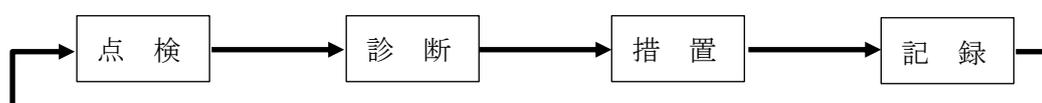
その後、点検、診断結果に基づき必要な措置を適切な時期に着実かつ効率的・効果的に講じ、点検結果と共に記録してメンテナンスサイクルを回すことで老朽化対策を推進していく。

（1）定期点検要領等

- ・門型標識等定期点検要領（北海道建設部 土木局道路課 H31.2）

(2) 門型標識等毎の健全性の診断(門型標識等定期点検要領北海道建設部土木局道路課 R1. 10)

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態



写真－２ 門型標識点検状況

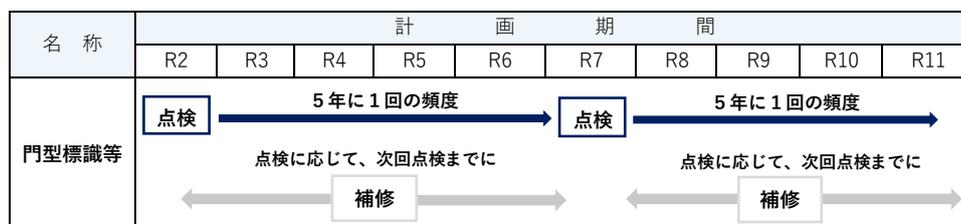


点検は、近接目視に加え必要に応じて触診や打音等の非破壊検査を実施します。また、施設内の照明等附属物本体や取付金具類の点検も実施する。

3. 計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とする。なお、点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新する。

点検計画イメージ



※R2点検業務 約110万円、点検に基づく補修は随時

4. 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講ずる。なお、対策の優先順位は、門型標識の健全性の他、当市で実施している橋梁など他の構造物とも整合性を図り、第3者への影響後や路線の重要度など総合的に勘案して判断する。

5. 施設の状態・対策内容・対策費用

網走市で管理する門型標識1箇所は、令和2年度に点検を実施し、その結果は、判定区分Ⅱの予防保全段階となっている。

【点検結果と修繕計画】

◆点検結果

損傷のある構造物に分類

損傷の種類・程度や条件により、定期点検を含む継続的な経過観察、補修検討、詳細調査を実施して補修検討を行うなどの分類を行った結果、経過観察とする損傷に分類された。

- ・横梁取付部のフランジ及び三角リブに腐食
- ・L側支柱基礎部のベースプレート及びアンカーボルト・ナットに腐食
- ・標識板取付部のボルトの緩み(起点側、終点側 計4枚)

◆修繕計画

・合いマークが未施工であることが確認されたため、ゆるみのないことを確認後アンカーボルト・ナット8箇所×2と横梁取付部のボルト・ナット6箇所×12について施工を行った。標識取付部(起点側、終点側 計4枚)も再度締付を行い、合いマークを施工した。今後は、ボルト・ナットの緩みを継続的に観察する。

路線名	施設種別	幅×高さ(m)	判定区分
山下通線	門型標識	15×7.4	Ⅱ

◆費用の縮減に関する具体的な方針

点検で損傷度判定が「Ⅰ（健全）」（約 5 割程度）の標識については、新技術などを活用した点検や直営点検を実施することで、維持管理コストを約 1 割程度縮減することを目標とする。

なお、今後の点検の損傷度により施設の廃止、縮小をするかは関係部署と検討していくこととする。

◆新技術等の活用

次回の定期点検から、標識の修繕や点検などに係る新技術の活用の検討を行うとともに、設置後 20 年以上経過している門型標識については、費用の縮減や事業の効率化などの効果が見込まれる新技術を活用することを目標とする。

6. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

網走市 建設港湾部 都市整備課 TEL (0152) 44-6111 内線 209